【様式１】

① 食育月間の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	兵庫県
取組市町村名 取組団体・企業名	加古川市
取組の名称	夏野菜を育てる
実施時期	6 月
取組内容に該当する食育ピクトグラム（複数選択可）	☑ 1 みんなで楽しく食べよう　☐ 2 朝ごはんを食べよう　☑ 3 バランスよく食べよう　☐ 4 太りすぎない やせすぎない　☐ 5 よくかんで食べよう ☐ 6 手を洗おう　☐ 7 災害にそなえよう　☑ 8 食べ残しをなくそう　☐ 9 産地を応援しよう　☑ 10 食・農の体験をしよう ☐ 11 和食文化を伝えよう　☐ 12 食育を推進しよう
取組内容	0～3 歳児はクラスのプランターに 4.5 歳児は一人一鉢自分が選んだ野菜を植えました。4.5 歳児が選んだ野菜のひとつにミニトマトがあったのですが、0～2 歳児も遊ぶ園庭で、もし小さい子が実っているミニトマトを口にし、喉に詰まらしてしまったらどうしようという心配を 5 歳児のこども達に話すと、「野菜のおうちをつくって、簡単に入れないようにしたらどうかな？」いう意見が出ました。みんなで話し合った結果、イチゴ狩りに行ったこどもがイチゴをビニールハウスの中で収穫した経験から、鉢の周りをビニールで囲むことになりました。 最初はミニトマトの鉢のみを囲っていたのですが、「ミニトマトだけいいな～」「他の野菜も入れよう！」という声が上がり、3～5 歳児が育てている野菜すべてを入れることになりました。 透明ナイロンに絵や模様を描いたり、入口にはジョーロを持ったまま入ることができるようにスズランテープを付けたりして、特別な『みんなのやさいハウス』ができあがりました。  こども達はこの野菜ハウスがお気に入りで毎朝、水やりをしたり、生長の様子を見たりして収穫を楽しみにしています。 この『みんなのやさいハウス』をつくることで、野菜を大切に育てたいという想いが強くなり、愛情をもって育てる姿が見られるようになりました。友達が育てている野菜の生長にも興味をもち、生長の様子を友達と共有し合ったり、収穫を喜び合ったりと食への興味や感謝の気持ちにもつながっています。 